

2020年度 公益財団法人柳井正財団 事業報告書 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

当財団は社会課題に独自の方法でアプローチし、人々が自立して、互いに尊重し合い、豊かな生活を送ることができる社会づくりに貢献することを目的としています。
2020年度は海外奨学金支給事業、留学希望者支援事業、国際交流事業で以下の事業活動を行いました。

1. 事業の概要

< 1 > 海外奨学金支給事業

(1) 奨学生人数について

当財団の奨学生人数は下表の通りとなっており、今年度は1期生の中から27名が大学を卒業しました。

1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	合計
36名	29名	31名	27名	33名	156名

(2) 2020年度奨学生の選考（5期生）について

当財団の募集方法として用意している下記2通りの選考を行いました。

- ① 学校教育法第1条に定義される日本の各高校から最大3名まで学生を推薦できる公募制学校推薦方式。
- ② 世界中に居住する日本人学生が誰でも応募できる一般公募方式（公募制海外大学奨学金）。

① 公募制学校推薦（予約型）

【奨学生の募集活動スケジュール】

2020年7月1日～2020年8月30日：応募書類受付（高校から応募）
2020年8月30日～2020年9月6日：財団職員による書類選考
2020年9月12日：財団職員による一次面接
2020年9月22日：奨学生選考委員会による最終面接

【合格者人数】

募集期間内に財団が指定する高校の内、69校から計93名の応募を受付けました。財団職員と外部選考補助者による書類選考と一次面接を通過した17名を、選考委員会による最終面接で審査を行った結果、15名を合格としました。しかし、15名中3名は対象大学に合格できなかったため、最終的な合格者は12名となった。

② 公募制海外大学奨学金（合格型）

2020年12月18日～2021年2月14日：応募書類受付

2021年 2月14日～2021年4月 5日：財団職員と外部選考補助者による書類選考
2021年4月11日：財団職員と外部選考補助者による一次面接
2021年4月21日、23日：奨学生選考委員会による最終面接
※新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、面接はオンライン面接で実施。

【合格者人数】

募集期間内に国内・海外から計235名の応募を受付け、募集条件を満たした応募者に対し選考を実施しました。財団職員と外部選考補助者による書類選考と一次面接を通過した22名を、選考委員会による最終面接で審査を行った結果、21名を合格としました。

(3) 奨学金支給額について

- ・支給額 米国：1名に対し年間95,000米ドルを上限とする
(2020年3月31日以降95,000米ドルに増額)
英国：1名に対し年間65,000英ポンドを上限とする
(2020年3月31日以降65,000英ポンドに増額)
- ・支給期間 米国：大学卒業までの通算4年
英国：大学卒業までの通算3年
- ・2020年度支給額：

1期生	272,354,240円
2期生	195,067,730円
3期生	237,315,925円
4期生	242,585,655円
<hr/>	
総額	947,323,550円

(4) 2020年度コミュニティ活動について

① オンライン懇親会

日時：2021年1月13日（水）
参加人数：90名（内、奨学生85名）
参加役員：柳井理事長、古賀理事、國部理事、松家理事、柳井康治理事

② オンライン奨学金説明会

財団事務局のサポートのもと、奨学生が主体的にオンラインによる奨学金説明会を企画し広報・運営を実施しました。

日時：2021年5月23日（日）午前の部と午後の部で各3時間
参加奨学生：35名
説明会応募者数 / 参加者数（生徒数）：約400名

③ オンライン帰国報告会・壮行会

理事長や理事、奨学生同士の意見交換を通じて、卒業生は今後の進路について考えを深め、新入生となる5期生は卒業生から刺激を受け、智の結集としての奨学生コミュニティへの帰属意識を高めることを目的に開催しました。

日時：2021年6月25日（金）

参加人数：67名（内、奨学生60名）

参加役員：柳井理事長、古賀理事、松家理事、関理事、柳井康治理事
小山評議員、柳井一海評議員

④ 5期生のためのオンライン合宿

新入生同士や先輩奨学生との交流を通じて、奨学金の趣旨を理解し、海外大学で学び、生活するにあたっての不安が払しょくされること、及び奨学生コミュニティの一員として意識の醸成を目的に開催しました。

日時：2021年7月15日（木）～16日（金）

企画奨学生：（1期生～4期生）46名

参加奨学生：（5期生）33名

< 2 > 留学希望者支援事業（助成）：留学フェロシップ

助成先：NPO 法人留学フェロシップ

（1）助成金額：20,671,699円 / 年間

（内訳：2019年度収支ズレ 1,500,000円 + 2020年度実費 19,171,699円）

（2）今年度の活動

助成団体が実施している「留学キャラバン隊（全国の高校・教育委員会等を廻り、海外留学の魅力と意義を伝える場）」の今年度の特徴としては、オンラインプログラムを充実させたことで、地方など遠方からの参加者の旅費や移動時間が無くなり、その結果、広範囲で「留学に興味」を持っている高校生にリーチアウトすることが出来ました。

留学キャラバン隊活動実績

	2018	2019	2020
留学キャラバン開催数	35	37	77
サマーキャンプ参加者数	62	86	130
エッセイ指導参加者数	54	47	77
海外奨学金応募者数	41	34	70
海外奨学金合格者数	7	7	19

< 3 > 国際交流事業（助成）：Stanford e-Japan

助成先：SPICE (Stanford Program on International and Cross-Cultural Education)

※米国 Stanford 大学内のオンラインプログラム

(1) 助成金額：12,089,000 円 / 年間

(2) 今年度のオンラインプログラムの概要

① 秋コース（2020年10月5日～2021年2月16日）

・受講者：国内高校生 26名 - 男性 11名 / 女性 15名

公立高校 14名 / 私立高校 12名

(SPICE による書類選考で応募者の中から受講者が決定する)

・講義内容：

1. The U.S.-Japan Relations (日米関係)
2. Japanese Immigration to the United States (日本人の米国への移民)
3. The Attack on Pearl Harbor (真珠湾攻撃)
The Atomic Bombings of Japan (日本への原子爆弾投下)
4. Japanese American Internment (日系アメリカ人強制収容)
5. Gender Issues in the U.S. (アメリカのジェンダー問題)
6. Civil and human rights (公民権と人権)
7. Biculturalism and the Japanese (二文化併存と日本人)
8. Silicon Valley and Entrepreneurship (シリコンバレーと起業家精神)
9. International Study and Internships in the U.S.
(アメリカでの国際的研究とインターンシップ)
10. America Education as a Balancing Act (アメリカの教育バランス)

② 春コース（2021年2月15日～2021年6月30日）

・受講者：国内高校生 28名 - 男性 12名 / 女性 16名

公立高校 14名 / 私立高校 14名

(SPICE による書類選考で応募者の中から受講者が決定する)

・講義内容：

1. Religion in the U.S. (アメリカの宗教)
2. The U.S.-Japan Relations (日米関係)
3. Japanese American Internment (日系アメリカ人強制収容)
4. World War II (第2次世界大戦)
5. U.S. High Schools and Education (アメリカの高校と教育)
6. Silicon Valley and Entrepreneurship
(シリコンバレーと起業家精神)
7. Gender and Equality Issues (ジェンダー問題と平等)
8. Biculturalism and the Japanese (二分化併存と日本人)
9. Civil and human rights (公民権と人権)
10. Studying Abroad & The Future of the U.S.- Japan Relationship
(海外留学と日米関係の未来)

2. 法人運営の概要

< 1 > 役員に関する事項

2021年8月31日現在における役員は以下の通りです。

役職	氏名	常勤・非常勤	任期
理事長	柳井 正	非常勤	2021年度定時評議員会 終結のときまで
理事	古賀 信行	非常勤	
理事	國部 毅	非常勤	
理事	松家 仁之	非常勤	
理事	関 美和	非常勤	2022年度定時評議員会 終結のときまで
理事	柳井 康治	非常勤	
監事	真砂 靖	非常勤	2021年度定時評議員会 終結の時まで
監事	西川 克行	非常勤	2022年度定時評議員会 終結の時まで
評議員	榊原 定征	非常勤	2023年度定時評議員会 終結の時まで
評議員	小林 健	非常勤	
評議員	朝田 照男	非常勤	
評議員	小山 紀昭	非常勤	
評議員	平野 信行	非常勤	2022年度定時評議員会 終結のときまで
評議員	柳井 一海	非常勤	

< 2 > 会議に関する事項

2020年度の理事会・評議員会開催内容は、以下の通りとなっております。

【理事会】

開催日時	議案	結果
2020年10月23日 (決議の省略の方法)	第1号議案：2019年度（第5期）決算の承認 第2号議案：2020年度評議員会の開催について	原案通り承認 〃
2020年11月11日	議案無（定時評議員会に合わせ臨時理事会を開催） 職務執行報告	— 報告
2021年3月29日 (決議の省略の方法)	第1号議案：配当優先の無議決権株式の寄附について 第2号議案：留学フェローシップへの業務委託費の増額について 第3号議案：2020年度（第6期）補正予算案の承認について	原案通り承認 〃 〃
2021年7月7日	第1号議案：2021年度（第7期）事業計画および予算案の承認 第2号議案：理事の任期満了に伴う新理事の評議員への推薦 第3号議案：監事の任期満了に伴う新監事の評議員への推薦 第4号議案：(株)ファーストリテイリングとの利益相反取引の承認 第5号議案：(株)TYの配当優先の無議決権株式の寄附受領から現金寄附受領に変更する件 職務執行報告	原案通り承認 〃 〃 〃 〃 報告

【評議員会】

開催日時	議案	結果
2020年11月11日	第1号議案：2019年度（第5期）決算の承認について 第2号議案：現理事の任期満了に伴う新理事の選任 第3号議案：現監事の任期満了に伴う新監事の選任 職務執行報告	原案通り承認 〃 〃 報告

3. 附属明細書

2020年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容に補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成いたしません。